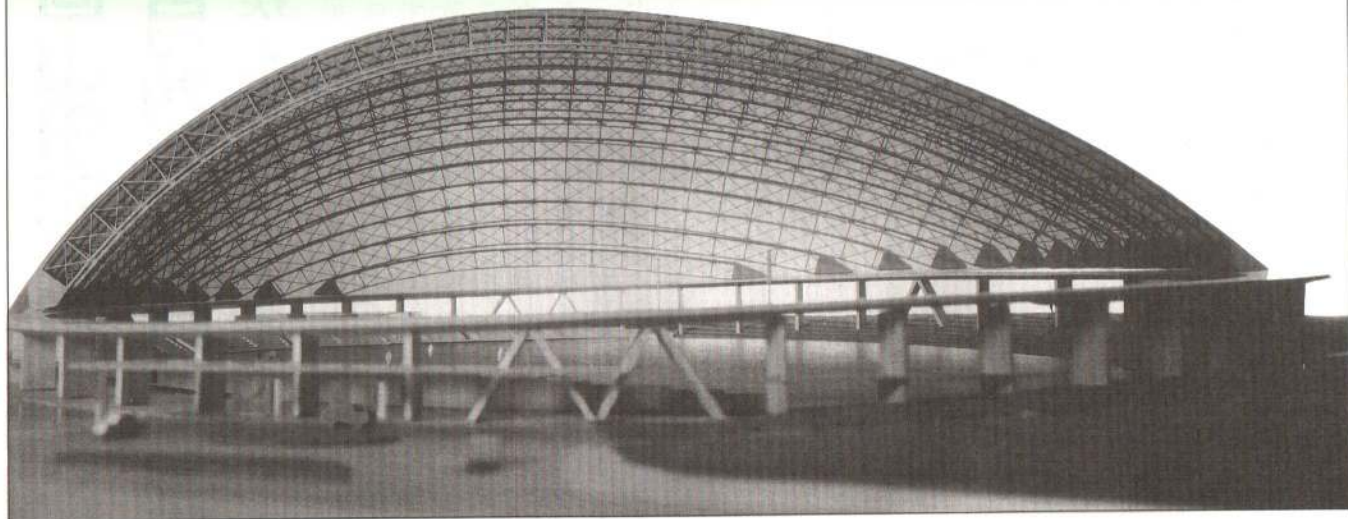


世界最大の木造ドーム

設計コンペで優秀案決定

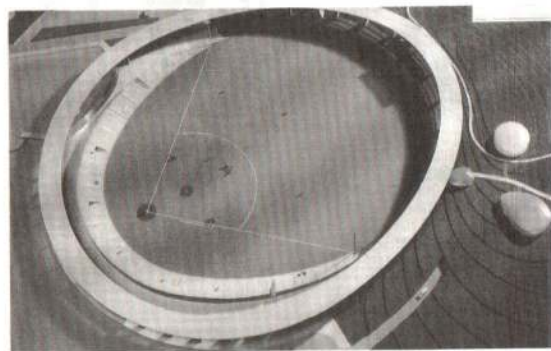


秋田杉の集成材を使用

7年度着工、9年度オープン予定

県が上代野へ建設を計画している大館地区多目的ドーム（仮称）。その建設にあたって県は、最新の英知を広く集めた画期的な計画案を求めため、五年十月に提案競技審査委員会（委員長・原廣司東京大学生産技術研究所教授）を設置し、提案競技（コンペ）を実施しました。

提案競技の要項には、本工事費は七十二億円以内、硬式野球をはじめサッカーなど広範なスポーツ種目に対応できること、観覧席は最大収容人員を五千以上、イベントの利用効率が高い施設とすることなどを盛り込み、全国の業者から提案を公募しま



した。その結果十七の共同企業体が提案競技に参加し、審査委員会では一次審査、二次審査を行って、「伊東豊雄建築設計事務所・竹中工務店設計共同企業体」の提案を優秀案に選定。三月二十八日に県へ答申しました。県はこの答申を受けて同案を採用することに決定し、今後この案を基に、六年度に基本・実施設計、七年度に着工、九年度オープンの予定で事業が進められることになりました。

伊東・竹中共同企業体の提案は、外観が卵を縦に切って伏せたようなデザインで、延べ床面積二万三千平方メートル、天井の高さは四十六・二メートルは、公設ドームとしては国内で最大規模です。また、屋根の構造には秋田杉の大断面集成材が使われることになっていて、木造ドームとしては世界最大となります。

秋田杉がふんだんに使われ、流れるような曲面を描く現代的なデザインのドーム。まさに新しい時代の到来を予感させるかのようです。スポーツ・レクリエーションの核として全国に誇れる施設になることはもちろん、地域経済への波及効果の面でも、期待は大きくふくらみます。

☆提案の概要

建築面積・2万1,000㎡
延べ床面積・2万3,000㎡
平面外形

卵形(175m×153m)
屋根構造
木造アーチトラス

(秋田杉集成材使用)
屋根仕上げ・テフロン膜(二重)
有効高さ・46・2m
グラウンド面積

1万3,500㎡
〈野 球〉両翼90m、中堅120m

〈サッカー〉64m×100m
〈トラック〉周回3000m、直線1000m

グラウンド仕上げ・人工芝
観 覧 席・5,000席

〈内野〉3,500席
(一部可動)

〈外野〉1,500席

